

午後 試験

問 1

出題趣旨

情報システム開発プロジェクトの遂行中には、様々な問題が発生するが、プロジェクトマネージャはこれらの問題に適切に対応することが求められる。中でも、発生した問題の解決が利用部門や協力会社などプロジェクト関係者の利害にかかわる場合には、交渉を通じて問題解決を図ることが必要となる。

本問は、プロジェクト遂行中に発生した交渉が必要となる問題について、問題解決の手順や解決策などを具体的に論述することを求めている。論述を通じて、プロジェクトマネージャとして有すべきプロジェクト実行管理に関する知識、問題解決のための交渉能力や経験などを評価する。

問 2

出題趣旨

システム開発プロジェクトでは、テスト結果や移行の準備状況などを総合的に判断して本稼働開始の可否を決める。その際、稼働予定日までに解決しきれない課題については、必要な対応策をとった上で、本稼働に踏み切ることもある。

本問は、システムの本稼働までに解決しきれないと認識した課題について、プロジェクトマネージャが、その影響範囲を調査した上で、どのような対応策を検討したか、その際にどのような工夫をしたか、具体的に論述することを求めている。論述を通じて、プロジェクトマネージャとして有すべき課題分析力や課題対応力、プロジェクトの委託者や関係者の支援を得てプロジェクトを円滑に運営する能力などを評価する。

問 3

出題趣旨

プロジェクトマネージャには、予算、納期などを管理してプロジェクトを円滑に運営するとともに、利用者が満足する情報システムを構築するために、システムの品質を確保することが求められる。このため、プロジェクトマネージャは、品質を作り込むためのプロセスと品質を確認するためのプロセスを開発標準として定め、その活動計画を作成して確実に実施しなければならない。

本問は、品質上の目標を達成するために作成した活動計画について、予算や納期の範囲内で実行可能な計画にするために、プロジェクトの状況に応じて工夫した点とともに、具体的に論述することを求めている。論述を通じて、プロジェクトマネージャとして有すべき品質の確保に関する知識、品質を確保するための活動計画を作成し遂行する能力や経験などを評価する。